

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費

款：農林水産業費 項：農地費 目：農地事業諸費

款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

款：流域下水道事業費 項：建設費 目：建設費

款：水道事業費用 項：営業費用 目：原水及び浄水費

事業名 **新** 岐阜県設計積算システム 最適化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111 (内 3630)

E-mail： c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費	3,000千円	(前年度予算額：)	0千円)
県土整備部	1,734千円	(前年度予算額：)	0千円)
農政部	534千円	(前年度予算額：)	0千円)
林政部	534千円	(前年度予算額：)	0千円)
下水道課	66千円	(前年度予算額：)	0千円)
水道企業課	132千円	(前年度予算額：)	0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

テレワーク化に対応するため、岐阜県設計積算システムの必須ソフトウェアへ独自カスタマイズ(OpenJava)をR3年度に予定している。

OpenJavaは3カ月に1回(最大年4回)、脆弱性等の改善のためにバージョンアップが予定されているが、必須ソフトウェアの独自カスタマイズでの動作は、ベンダーで保証されない。

(2) 事業内容

必須ソフトウェア (OpenJava) のバージョンアップ毎に積算システムの動作確認、微修正を行うことは、セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するために不可欠である。そのため、改修後に予定されるバージョンアップ (2回) について、積算システムの動作検証が必要である。

適切な積算システムの動作確認等を行うことにより、積算事務の効率化がもたらされる。

(3) 県負担・補助率の考え方

県発注の建設工事の予定価格を算定するシステムであるため、所要経費は県負担となる。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,000	積算システムの動作確認、修正
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

コロナ社会を生き抜く行動指針 (岐阜県令和2年5月15日 策定)

(2) 国・他県の状況

働き方改革実行計画において、柔軟な働き方がしやすい環境整備の一環としてテレワークが位置付けられている。

(3) 後年度の財政負担

正確で安全を確保した積算のためには、令和4年度以降も OpenJava のバージョンアップに伴い、設計積算システムの動作確認及び微修正が必要となる。

6, 000 千円 (1, 500 千円 × 4 回)

(4) 事業主体及びその妥当性

発注者が利用するシステムであるため、県が主体となって行うべきである。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 必須ソフトウェア (OpenJava) のバージョンアップ毎に積算システムの動作確認、微修正を行うことは、セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するために不可欠である。そのため、改修後に予定されるバージョンアップ（2回）について、積算システムの動作検証を実施し、正常な動作を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

岐阜県設計積算システムにおいて、情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するための委託料であり特に指標となる数値はない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するために不可欠である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するためには、令和4年度以降もOpenJavaのバージョンアップに伴い、設計積算システムの動作確認及び微修正が必要となる。 6,000千円（1,500千円×4回）

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】